

横浜市大佛次郎記念館 令和 6 年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	富岡委員	中垣委員	中村委員	古本委員	ハッ橋委員
使命 1 大佛次郎に関する調査・研究を 深める。	【評価できる点】 ・デジタルアーカイブによる資料の公開が 着実に実施されている。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・デジタルアーカイブ化の実現は、非常に労 力を必要とする作業行程があると認識し ています。予定通りのスケジュールで開設 されたことに、敬意を表しますとともに評 価します。 ・特別資料整理期間を活用し、資料のデジタ ル化を計画的に実施している点を評価し ます。 【より一層の取組を期待する点】 ・資料のデジタルアーカイブ化は、ある意 味、際限のない非常に時間のかかる作業で す。今後も中・長期計画を作成した上で、 効率的、かつ効果的な資料公開を期待しま す。	【評価できる点】 ・4年ぶりの「おさらぎ選書」刊行、所蔵品の 修復と貸出を評価します。 ・新デジタルアーカイブによる所蔵資料検索 ページおよび画像データ約 300 件を含む 3062 件のデジタル資料公開を、高く評価し ます。デジタル化とアーカイブ公開に留ま らず、館内映像展示やミュージアムグッズ 作成におけるデジタル化した自館資料の活 用も評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・せっかくのデジタル化なので、デジタル化 した自館資料について、より一層の活用を 期待します。	【評価できる点】 ・おさらぎ選書第 2 9 集を発行し、調査研究 の成果を形に残し広く発信出来たこと評価 します。 ・限られた予算内で、優先順位をつけた資料 修復が実施されたことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・新しいデジタルアーカイブを活用して、所 蔵資料の検索システムを公開したことを評 価します。 ・画像データを含むデータの公開実績数が目 標数を上回ったことを評価します。 ・「おさらぎ選書」第 29 集が刊行されたこと を評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・新デジタルアーカイブの公開が継続して 行われることを期待します。 ・SNS 等でのレファレンス事例発信の回数が 増えることを期待します。
使命 2 大佛次郎の業績を広く普及する。	【評価できる点】 ・「鞍馬天狗」の時代的な意味が様々な試み で立体的に展開され、大佛文学の広い読者 層をあらためて実感できた。 ・山口蓬春記念館との連携も評価したい。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・「おさらぎ選書」第 29 集「大佛次郎没後五 十年記念論集」の刊行を評価します。 ・年 3 回のテーマ展示は、幅広い利用者を想 定して、3 回ともに工夫をこらした内容で 実施している点を評価します。 ・企画展示と連動して、地域団体・外部との 連携によるさまざまな関連事業を実施した 点を評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・作品をテーマにした展示の実績に加え、「大 佛次郎」という人物・ライフスタイルからのアプ ローチも有効だと考えます。 時代を経て、作家の生きた時代を知らない年 代も増えてきており、あらためて、初心者にも わかりやすい展示も考案していただけることを 期待します。	【評価できる点】 ・テーマ展示において、「大佛次郎を知らない 人が見ても楽しめるもの」を念頭に、新た に大佛次郎の業績を知ってもらう工夫をし たこと、既然大佛次郎を知っている人に対 しては「作品を掘り下げ、検証するもの」 を念頭に、理解を深めてもらう工夫をした こと、「他館と共同して実施するもの」を企 画することで、本館を知らない人にも新た に大佛次郎を知ってもらうきっかけを作っ たことを高く評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・「猫」「兄弟」「星」のような、大佛次郎に対 する新たなアプローチの展開を期待しま す。 ・館内設備が原因で美術資料の借用に制限が 生じていることについて、長期的な設備の 改善に向けた検討と設置者との協議をお願 いしたいです。	【評価できる点】 ・来館者の満足度が 5 点満点中 4.5 と高評価 であったことを評価します。 ・テーマ展示「鞍馬天狗誕生 100 年ヒーロー 100 年の歩み」では、映画上演会や講演、ガ イドツアーを開催することで広い層にアプ ローチ出来たことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・今後も新たな企画を実施することで、大佛 次郎のファン層の拡大を図ってほしいと思 います。	【評価できる点】 ・3 つのテーマ展示を合計した観覧者数が目 標値と同等であったことを評価します。 ・「展示解説」「たてものミニミニトーク」な ど、観覧者との接点を継続的に設けている ことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・テーマ展示Ⅱにおいて観覧者数が目標値に 達しなかった要因についての検討を期待し ます。 ・「展示解説」「たてものミニミニトーク」の 参加者数が増えること、その機会が周知さ れることを期待します。
使命 3 幅広い市民等が文学に 触れる機会を提供する。	【評価できる点】 ・「ねこ写真展」やビブリオバトルが定着し、 幅広い市民が文学・文化にふれることがで きていることを評価したい。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・ビブリオバトルシリーズを、全世代（小学 生、中学生、大人世代）で実施したことを 評価します。さらに教育委員会からの講師 要請もあるなど、学校活動にビブリオバトル の浸透をはかる展開は、文学館と学校連 携の好例としてアピールするべき点である と考えます。 【より一層の取組を期待する点】 ・大佛次郎作品を軸に、さまざまなイベント やワークショップが考えられると思いま す。準備及び実施に時間と労力がかかります が、外部団体とも積極的に連携して、定 期的に開催していただくことを期待しま す。	【評価できる点】 ・ビブリオバトルの取組、ガイドツアーの取 組を高く評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・既存の企画に加えて、読書推進活動、文字 活字文化の魅力を伝える事業など、より俯 瞰的な視点からの企画の提案を期待しま す。 ・ここまで成功してきた企画である「大佛次 郎×ねこ写真展」の次の段階として、応募 数の増加に対応した見せ方・投票の工夫を 期待します。	【評価できる点】 ・ビブリオバトルが従前の実施に加え、地区 センターでの子供対象のビブリオバトルの 実現など、参加者の裾野が広がる取り組 みが出来たことを評価します。 ・「大佛次郎×ねこ写真展」の応募が増加し、 多くの人の関心を集めたことを評価しま す。 【より一層の取組を期待する点】 ・ビブリオバトルの参加校が増えるための働 きかけが行われることを期待します。	【評価できる点】 ・大佛次郎賞受賞記念講演会の入場者数が目 標数を大きく上回ったことを評価します。 ・ビブリオバトル関連の取り組みが継続され ていることを評価します。 ・ビブリオバトルの対象が大人へと広がって いることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・ビブリオバトルの魅力について、より幅広 く発信されることを期待します。 ・ねこ写真展は一定の認知を得られてきたよ うに感じます。その発信や展示について、 新たな展開が検討されることを期待しま す。

横浜市大佛次郎記念館 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	富岡委員	中垣委員	中村委員	古本委員	ハッ橋委員
使命4 市民に文化を中心とした活動の場を提供する。	【評価できる点】 ・和室の利用が増えていることを評価したい。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・記念館の特徴ある施設（和室）を SNS などで積極的に広報し、あらたな利用者を獲得されたことを評価します。 ・利用者との意見交換会を実施されたことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・記念館の建物・施設の特色を大いにアピールすることで、より一層、利用者の獲得につながることを期待します。	【評価できる点】 ・利用者意見交換会の実施を高く評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・一般的な利用率に加えて、新規利用数や利用団体・利用方法の多様性についても、利用状況として確認してもよいのではと思います。 ・市民活動の紹介（利用方法紹介や市民が撮影した写真のリポストなど）と、SNS での館の情報発信をうまく絡めていただけると、面白いのではないのでしょうか。	【評価できる点】 ・利用事例の紹介や、和室公開により和室利用の新規利用が増加したことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・会議室の利用や撮影利用件数が前年を下回ったことから、ブログ等を通じて利用促進の強化を図って頂きたいと思います。	【評価できる点】 ・観覧者、施設利用者などへの対応が計画通り実施されていることを評価します。 ・和室の利用率が目標を大きく上回ったことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・和室の利用率向上の要因や利用目的について整理・検討されることを期待します。 ・会議室については、現状の設備で利用促進が可能かどうか検討されることを期待します。
使命5 文学を媒介としたネットワーク構築を推進する。	【評価できる点】 ・大佛次郎没後 50 年の事業が多様に展開され、他の団体とのネットワーク構築がなされたことを評価したい。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・企画展実施を機に、あらたな研究機関との交流や連携につなげたことを評価します。 ・山口蓬莱館との共同展示や県内施設との連携により、市民、県民の利用促進につながった点を評価します。 ・地域団体との連携が地域活性化につながった点を評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・地域の協力は、記念館の認知度につながるため、今後もさまざまな連携を検討していただくことを期待します。	【評価できる点】 ・各種企画における積極的なネットワークの構築と活用を高く評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・文学館をはじめとする文化施設とのネットワークの構築に引き続き取り組んでいただくとともに、地元企業などの営利団体や、海外など、これまでとタイプの違うネットワークの構築を視野に入れてもよいのかもしれないと感じました。	【評価できる点】 ・令和5年度の大佛次郎没後 50 年記念事業で得たネットワークを活用した事業が開催されたことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・引き続きネットワークを維持・継続し多くの新たな提携事業が開催されることを希望します。	【評価できる点】 ・さまざまな関係者、関係機関との連携を継続的に行き、ネットワークの構築や維持に努めていることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・ハロウィンウォークと同様に、近隣施設（山手西洋館）との連携が進むことを期待します。
使命6 持続可能性を高める施設運営を行う。	【評価できる点】 ・施設の運営が的確になされている。利用者のアンケートから、使いやすさや快適性への評価が高い。 【より一層の取組を期待する点】 ・老朽化による設備不具合を中長期的にどのように対処していくのか全体的プランが求められる。	【評価できる点】 ・経年劣化等の不備をきめ細かに点検・対処され、事故なく運営されたことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・施設維持管理は年数の差こそあれ、いずれの文化施設にとっても大きな課題です。まずは安全第一を基本に、日常的なメンテナンスに加え、計画的に修繕・改修をしていただくことを期待します。	【評価できる点】 ・計画的な修繕工事、突発的なトラブル対応、どちらも高く評価します。 ・活動内容が評価されて自主事業収入が予算を大きく上回ったことを高く評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・今後も必要な更新、修繕については、計画的に取り組まれることを期待します。 ・キャッシュレス決済の手数料増加が会計に影響している件は、他の展示施設でも耳にしました。設置者とも相談の上、時代の変化にあわせた対応をお願いしたいです。 ・設置者と相談の上で可能な範囲ではありますが、クラウドファンディングのような資金調達の手法を、利用者とのコミュニケーションを兼ねるかたちで検討しても面白いかもしれません。	【評価できる点】 ・自主事業収入が予算を大きく上回ったことを評価します。 ・施設や設備のきめ細やかな管理が行われて、施設管理瑕疵による事故が1件もなかったことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・修繕費及び修繕に伴って支出されたと思われる消耗品費、手数料が予算を大きく上回っています。 引き続き計画的、早期な修繕の実施に努めていただきたいと思います。	【評価できる点】 ・施設の老朽化に対応した小破修繕が継続的に行われていることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・大規模改修に向けた調査等に基づいて、適切な時期に改修計画が立案されることを期待します。

横浜市大佛次郎記念館 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	富岡委員	中垣委員	中村委員	古本委員	ハッ橋委員
使命7 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。	【評価できる点】 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が、館内全般に行き届いていることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・今までの経験値が、今後の防災対策構築に活かされることを期待します。	【評価できる点】 ・リスクを想定しつつ施設運営の継続のために必要な対応を行っていることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・感染症のリスクとその他のリスクを比較検討し、必要な対応を取っていけるとよいかと思います。とりわけ夏場のマスク着用は熱中症のリスクとも紙一重であるため、状況に応じて柔軟に対応いただければと思います。	【評価できる点】 ・従前から引き続き、十分な新型コロナウイルス感染症等拡大防止策を実施し、利用者及びスタッフの安全を確保したことを評価します。 【より一層の取組を期待する点】	【評価できる点】 ・感染症への対策を継続して行っていることを評価します。 【より一層の取組を期待する点】 ・新型コロナウイルスに限らず、各種感染症による影響を想定した運営が続けられることを期待します。
総括	デジタルアーカイブの構築、展示内容の充実、他の団体や館との連携など、大佛次郎という日本を代表する文学者の存在が持続的に広報され、その歴史的・文学的な意義が明らかにされていることを高く評価したい。	令和6年度の事業において、使命1から使命7まで、全般にわたり優れた活動をされたことを評価します。 使命1の調査・研究は、非常に時間と人的労力がかかるものですが、デジタルアーカイブ化を推進したことは、特筆されるべき実績と考えます。 テーマ展示は、さまざまな研究機関や施設との連携につながり、今後の活動にも大いに活かしていただきたいと思います。 普及活動では、ビブリオバトルの幅広い世代への浸透と、学校活動に取り入れられる可能性もあり、ぜひ本事業を育て、記念館の特色ある活動にさせていただくことを期待します。 施設維持については、日々の努力が、無事故で安全な運営につながったことを評価します。 「大佛次郎」という偉大な作家の魅力を伝えるために、時代のニーズにあわせた事業を考案し、伝えていただくことを期待しています。作家の生きた時代から年月が経ち、現在は、今までは知っていて当たり前の知識が必ずしも共有されていないことが多々あります。しかしながら、作家の生き方や生きた時代に新鮮さを見出す世代も増えており、知らないからこそ新たな世界に出会う楽しみを伝えることができるチャンスでもあります。記念館の建物を含め、魅力的な「大佛次郎」という文化を、これからも発信していただくことを願い、期待しています。	様々な工夫により、館の活動は拡充していると評価できます。 今後も持続可能性に留意しつつ、積極的な展開を期待します。	事業視察に伺うたびに、館長をはじめ学芸員や職員の皆様の大佛次郎及び大佛次郎記念の魅力を多くの人々に知ってもらいたいとの思いを感じて感服しています。 今後も引き続き、皆様のご活躍を期待しています。 収支については全体ではバランスの取れたものとなっていますが、今後も増加を続けると見込まれる修繕の対応については、水道光熱費の削減や備品購入や図書購入の先送りでは限界があると思いました。 今後早急な根本的な解決策を考える時期が来ていると思います。	令和6年度においては、目標と実績値に大きな乖離も無く、安定した記念館運営がなされていることを評価します。これまでに行ってきた様々な企画や働きかけが実を結んでおり、単年度では得られない継続的な活動の成果だと感じられます。

行政評価

【使命1】大佛次郎に関する調査・研究を深める。

【評価できる点】

- ・デジタルアーカイブ化に向け順調に精査・公開作業を行い、所蔵データ検索ページを予定通り令和6年10月に開設しました。これにより、3,000件を超える所蔵資料の一元管理に繋がった点を大変評価します。
- ・特別資料整理期間を活用して、紙資料の洋新聞目録(ル・タン)のデジタル化及びカリカチュアコレクション画像を撮影し、画像データとして保存するなど、デジタルアーカイブの構築・活用を前進することができました。
- ・長谷川路可《浜風》軸の修復など、限られた予算内で優先順位をつけた資料修復を着実に実施しました。

【より一層の取組を期待する点】

- ・全データの公開に向け、優先順位をつけた計画的な公開を期待します。
- ・調査・研究成果の発信において、刊行物の発行時期調整や執筆体制の強化が求められます。

【使命2】大佛次郎の業績を広く普及する。

【評価できる点】

- ・4年ぶりの「おさげ選書」第29集「大佛次郎没後五十年記念論集」の刊行を評価します。
- ・自主事業来館者数は14,959人と目標は下回りましたが、満足度は平均4.5点と高評価であったことを評価します。
- ・年3回実施したテーマ展示は、「初めての方が見ても楽しめるもの」「作品を掘り下げ、検証するもの」「他館と共同して実施するもの」と、初めて大佛文学に触れる方からすでに大佛文学に興味を持っている方まで幅広い方を対象にした視点での企画実施を行い、様々な切り口で作家と作品を紹介できました。
- ・企画展示と関連した、地元や外部団体等との連携した映画上映会や講演会、ガイドツアー、スタンプラリーなどを実施することによりファン層の拡大や団体との連携強化に繋がりました。
- ・デジタルアーカイブを活用した画像公開により、林忠正や木村莊八など関連分野への波及効果も見られました。

【より一層の取組を期待する点】

- ・若年層や女性層へのアプローチ方法にさらなる工夫が求められます。
- ・これまで計上してきたハロウィンウォーク参加者を来館者として計上しないことの変更により、参加者2,324人が実績として減る結果となりましたが、令和8年度の達成指標18,500人に向けて、来館者増に繋がる更なる取り組みを期待します。
- ・展示内容の歴史的・国際的文脈への位置づけを進めることで、研究的価値の向上が期待されます。

【使命3】幅広い市民等が文学に関する文化に触れる機会を提供する。

【評価できる点】

- ・各種文化事業について、年間を通して安定して実施しました。
- ・ビブリオバトルについて、これまで実施してきた中高生ビブリオバトル・和装 de ビブリオバトルを安定的に実施したほか、市教育委員会での図書教諭を対象とした研修講師や地区センターでの子どもを対象としたビブリオバトルなど全年齢層向けに展開し、参加者のすそ野が広がる取り組みができたことを評価します。
- ・実施9年目となる「大佛次郎×ねこ写真展」は、長年の取り組みが浸透し、前年比約120点増の482点となり、市民等参加型事業として定着してきたことを評価します。

【より一層の取組を期待する点】

- ・ビブリオバトル参加校の固定化傾向への対応として、新規校への働きかけを検討してください。
- ・「大佛次郎×ねこ写真展」応募数増加に伴い、展示スペースの制約に対し、展示環境の工夫が求められます。
- ・今後の事業展開の検討にあたっては、幅広い市民等へ文学に関する文化に触れる機会が提供できるよう、既存の枠組みに捉われない切り口の事業を展開する等、引き続き新しい発想で企画・立案をしていただくことを期待します。

【使命4】市民に文化を中心とした活動の場を提供する。

【評価できる点】

- ・春・秋の和室一般公開や利用事例をブログや SNS で利用促進に向けた情報発信を継続することにより新たな利用者が獲得でき、会議室の利用は伸び悩んだものの、和室利用率は 33%と目標を上回る利用率を達成できました。
- ・利用者との意見交換会を実施し、施設の利便性や快適性に関する具体的な意見を収集できたことを評価します。

【より一層の取組を期待する点】

- ・利用者サービス向上の観点から、利用事例の紹介及びきめ細やかな対応の継続を含め、利用者の利便性改善の視点を持ち続け、来館者増に向け施設運営に活かしていくことを期待します。
- ・会議室の利用及び撮影利用件数や WEB 来訪者数が目標を下回っています。利用促進策の強化や施設の認知度が高まる発信に期待します。

【使命5】文学を媒介としたネットワーク構築を推進する。

【評価できる点】

- ・令和5年度に大佛次郎没後50年記念事業で構築した各方面とのネットワークを生かし、令和6年度も連携事業を改良しながら実施し、令和7年度の企画展示「野尻抱影生誕140年」にあたり、新たに天文関係の博物館や団体との関係を着実に築いていることを評価します。
- ・山口蓬春記念館との共同展示やスタンプラリーなど、県内施設との連携による相互集客が実現できました。
- ・横浜シティガイド協会や山手アーカイブスなど、地域団体との協働が活発化できました。

【より一層の取組を期待する点】

- ・ネットワークの維持・継続に向けた定期的な意見交換や協働事業の企画を期待します。
- ・他館の事例を参考にした運営改善や事業の検討を期待します。

【使命6】持続可能性を高める施設運営を行う。

【評価できる点】

- ・経年劣化による設備等の修繕や、点検を適切に行い、施設管理瑕疵による事故件数は0件、法定点検実施率は100%を達成し、1年を通じて、事故なく施設及び設備のきめ細やかな管理を行いました。
- ・修繕予算執行率は123%と、老朽化対応に積極的な予算執行を実施し、快適度アンケートでは平均4.6点と高評価を維持できました。
- ・全体を通じて、良好な収支バランスを維持できています。

【より一層の取組を期待する点】

- ・築45年以上経過しているため、引き続き修繕や点検等により良好な施設の維持管理に努めてください。
- ・今後も効率的な資金計画を立て、管理運営費の分析と調整を継続し、効率的な運営体制を構築し、収支のバランスに配慮した予算執行に努めてください。

【使命7】新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

【評価できる点】

- ・新型コロナウイルス感染症等拡大防止策について、利用者やスタッフの安全確保を第一に運営を行った点を評価します。

【より一層の取組を期待する点】

- ・災害発生時等の対応・運用について、今後もスタッフ間の共有がなされ、体制が確立されることを期待します。

大佛次郎記念館 令和6年度指定管理業務・行政評価シート

総括	<p>指定管理者としての基本方針に基づき、施設の使命に即した多角的な事業展開と安定的な施設運営が図られました。特に、所蔵資料のデジタルアーカイブ化とその公開において顕著な進展が見られ、市民や研究者に対する情報提供の充実が評価できます。</p> <p>これにより、資料の長期保存や管理の効率化に繋がり、インターネットを介して多くの人が資料にアクセスできるようになったことで、文化芸術活動の促進や他の機関との連携のきっかけに大きく貢献しました。今後も着実なデータ化により、記念館の活動の周知や資料の調査研究と活用に広がっていくことを期待します。</p> <p>大佛次郎没後 50 年記念論集として 4 年ぶりに刊行した「おさらぎ選書 29 集」は、昨年度 5 年の歳月をかけて刊行した新刊本「南方ノート・戦後日記」ができるまでを記念館としても記録に残し、学術的な発展や文化の継承に貢献することのみならず、読者にわかりやすく記念館での活動を伝えることにも繋がりました。</p> <p>また、テーマ展示やビブリオバトル、地域連携イベントなどを通じて、幅広い世代への文学普及と文化振興に寄与しました。特に「大佛次郎と山口蓬春」展における他館との連携や、横浜市教育委員会との協働による研修事業など、地域資源を活かした取り組みは高く評価できます。</p> <p>これまで築いてきた地域団体や他施設との連携を深めた事業展開を行い、新たな分野での繋がりができたことで事業の幅が広がってきている点を評価します。</p> <p>施設運営・管理では、持続可能な施設運営に取り組み、定期的な点検及び老朽化に対応した修繕や設備更新を着実に実施し、快適な利用環境の維持に努めました。</p> <p>収支面では、支出の見直しや優先度を見極めた経費執行により、健全な財政運営がなされました。</p> <p>一方で、来館者数や WEB 来訪者数の減少、施設利用の固定化傾向など、今後の運営における課題も明らかとなっています。これらについては、広報の強化や新たな利用者層へのアプローチ、施設の利便性向上に向けた改善策の検討が求められます。</p> <p>令和 6 年度の運営は、施設の特性を活かした文化的価値の発信と、地域との連携による公共性の高い事業展開がなされており、指定管理者としての責務を十分に果たしていると評価します。今後も、持続可能な運営体制の構築と、より多くの市民へ、多様な切り口や手段で大佛次郎という作家の魅力を発信し、設置目的を効果的に達成できるよう、新たな事業やサービスを積極的に展開されることを期待します。</p>
-----------	---